

Aグループ

伝えたい事

- 認知症がどういったものかかわりやすくお伝えする
- それぞれの症状を心配せず隠さずにお伝えする
- 簡単なテストをし、相談窓口として行政を紹介する
(地域包括支援センター他)

番組内容

- おじいちゃん・お孫さん
→和やかな雰囲気の中で敷居を高くせず分かりやすく進めていく
- 普段の生活の中で物忘れが増え、お孫さんが気づき、早く行政に相談を掛けて対応していく

☆方言(新見弁)で!!

Bグループ

伝えたい事

- ・ドクターのお話(児玉先生)
治療、受診、生活
早期発見のポイント
- ・チェックリストの紹介を
家族はいえない
他職(看護師さん)
- ・認知症予防
- ・キャラバンメイトとサポーターの宣伝
(最後に)
- ・認知症の方の生の声を共有したら?
- ・認知症の方の対応をしてもらったらどうか?

番組内容

- ・相談が気軽にできる場所の紹介
- ・新見市内に矢印等を設置し、徘徊ルートを作る。定期でバスがやってくる(行方不明の防止)
- ・新見市は認知症になっても安心して暮らせる場所だという発信
- ・カフェサロンをうまく利用できたらいいのでは?(つどいの場)

Cグループ

伝えたい事

- 否定しない
- こういう症状は認知症かも
- 誰に相談するか

番組内容

- 探し物をする
- 悪い対応をする
- 解説する
 - (周囲の理解を促す
 - (ノンフィクション

Dグループ

伝えたい事

- ・認知症の方は増えている
- ・症状(年相応の物忘れとの違い)
- ・症状に気づいたときの対応
(つい厳しくしてしまう)
- ・相談窓口、気軽に相談できる場所
- ・オレンジリングのPR
- ・どんな治療があるか
(あきらめず、手遅れにならないように)
- ・周囲の対応

病院などの待合室で流しては？

番組内容

- ・寸劇がいい
- 地域の方、候補者有り
- ・見ながら出来るような予防体操
- ・服薬管理の方法
- ・家から出られるように
- ・尊厳に配慮
- ・見てもらえるように時間帯18:00～
- ・興味
- ・対象者は？

Eグループ

伝えたい事

- ・認知症の初期症状
- ・専門医に診てもらおう
- ・相談先の紹介
- ・認知症カフェの取組み紹介
- ・市報便りへの告知

番組内容

- ・徘徊
- 家に帰れなくなった
- 専門家の説明
- 地域・近所の人に協力してもらおう
- 皆笑顔

Fグループ

伝えたい事

接し方

認知症あるあるパート1

症状

認知症あるあるパート2

これって…認知症？

→どうすれば？

相談先？など

番組内容

- ①1人の老人がパジャマで歩く
同じものが冷蔵庫にたくさん
同じことを聞き→家族怒る
- ②上記に対しての良い&悪い接し方
- ③医者など専門家の話
(わかりやすく)
上記は認知症ですよ…
- ④なやんでませんか？
こんなことも認知症
→相談窓口はこちら～
シンプルにわかりやすく

Gグループ

伝えたい事

○早期発見→言動、行動、服装、物忘れ、性格の変化、意欲低下、物取られ等

気づき

地域住民に関心を持つ

○対応の仕方

家族・本人を傷つけないように

○専門機関へつなぐ

医療・行政など

番組内容

①最近あの人おかしくない??

(井戸端会議的な)

②事件発生

(地区の寄り合いの日時を忘れる)

→何度も電話してくる

家族に怒られる…

③経験者からアドバイスを受ける

→あんまり怒らんほうがええで

→介護者をねぎらう、共感する

④民生委員さん、福祉委員さん

→地域包括支援センター

→最後に笑顔へつなぐ